



株式会社 東急エージェンシー

〒107-8417 東京都港区赤坂 4-8-18

TEL 03-3475-9382 FAX 03-3475-9419

2019年6月12日
(31-13)

慶應義塾大学経済学部星野崇宏教授と データサイエンスのマーケティング活用で共同研究を開始

株式会社東急エージェンシー(本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：澁谷尚幸)は、慶應義塾大学経済学部星野崇宏教授とデータサイエンスのマーケティング活用に関するアドバイザリー契約を締結し、共同研究を開始いたしましたのでお知らせいたします。

当社はデータをマーケティングに活用するためには「高度なデータサイエンスやAIテクノロジー〈データを活かす理論〉」と合わせて、「行動経済学に代表される人間行動の理論的側面の理解〈人を動かす理論〉」が重要であると考えています。

星野教授はこれまで統計学・計量経済学・心理学の基礎研究と、マーケティング・脳科学・公衆衛生など、さまざまな分野への応用研究を行ってこられました。最近では行動変容を促すための行動経済学とAIを融合した新たなアプローチへの挑戦もされています。

そこで、このたび星野教授の「データを活かす理論」と「人を動かす理論」の両面での深い知見と実績をもとに、

- 施策効果測定や広告予算最適配分などのマーケティングモデル開発
- 効果的に顧客ロイヤリティを高めるポイントプログラム開発
- 膨大な行動履歴データをマーケティング施策に活かすDMP活用

などについて共同研究を行うこととなりました。

共同研究の成果を、クライアント企業が保有するデータのマーケティング活用の推進、ひいてはデジタルトランスフォーメーションの促進につなげてまいります。

■ 慶應義塾大学経済学部星野崇宏教授プロフィール

2004年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)、博士(経済学)。情報・システム研究機構統計数理研究所、東京大学教養学部、名古屋大学大学院経済学研究科などをへて、慶應義塾大学経済学部教授。シカゴ大学客員研究員、ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院客員研究員などを歴任。行動経済学会常任理事。マーケティング・サイエンス学会理事。

45歳未満の研究者に政府が授与する最も権威のある賞である 日本学術振興会賞を受賞(2017年)。ほかに日本統計学会研究業績賞、日本心理学会国際賞など受賞多数。

主な業績として“Semiparametric Bayesian Estimation for Marginal Parametric Potential Outcome Modeling: Application to Causal Inference”, Journal of the American Statistical Association, 2013, 108, 1189-1204. 「調査観察データの統計科学：因果推論・選択バイアス・データ融合」岩波書店, 2009. 「マーケティング・リサーチ入門」有斐閣(共著), 2018など。



本件に関するお問い合わせ
株式会社 東急エージェンシー
データマネジメント局 飯塚 藤田
Tel:03-3475-9486

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 東急エージェンシー

コーポレート本部 経営企画局 秘書・広報部 高橋、平松

TEL 03-3475-9382